

社会科学習指導案

日 時 平成16年9月22日(水)
 学 級 盛岡市立河南中学校1年4組
 (男子16、女子15、計31名)
 授業者 教諭 及川浩司

1. 単元名 古代国家の発展(「中学社会・未来を見つめて」教育出版)

2. 単元について

学習指導要領では、歴史的分野の目標のひとつとして「…具体的な事象の学習を通して歴史に対する興味や関心を高め、様々な資料を活用して歴史的事象を多面的・多角的に考察し公正に判断するとともに適切に表現する能力と態度を育てる」を設定している。さらに内容の取り扱いにおいて、「律令国家の形成以後、それを変質させながら奈良の都や平安京において天皇・貴族の政治が行われたことをとらえさせる観点から取り扱うようにする」とともに、「律令制の変質や律令政治の実態などに深入りしないよう」求めている。本章「原始・古代の日本と世界」は、日本の古代国家が律令国家として確立・展開する過程及びそれが修正を迫られ、解体への道を歩むとともに、新しい勢力が台頭して時代をとってかわる、いわゆる古代の終末までを扱う。

本単元「古代国家の発展」では、唐を中心とする東アジア世界の影響を受けながら、貴族を中心とした国力が発展していく反面、社会的・構造的矛盾がはやくも露呈し、動揺しはじめるという時代の二元性をとらえさせ、やがて武士の時代を迎えていくまでの歴史のながれ、必然性を深く感じ取らせたい。

3. 生徒の実態

中学校に入学して約半年が経過した。この間生徒たちは地理的分野の「世界と日本の地域構成」、歴史的分野の「原始・古代の日本と世界」等の学習を進めてきた。中学校での社会の学習は始まったばかりであり、学習の視点や教科書・資料の活用等はまだまだ十分に身に付いている状況ではない。

しかし、興味のある社会的事象を継続的に調査したり、土器をさがしにでかけたりと、社会科は好きであるという生徒が多く、ほとんどの生徒が授業にも意欲的に取り組むことができる。そうした学習意欲の点からみて、授業者の指導構想、課題設定によって学習課題に対する討論及び思考のねりあげが期待できるクラスである。

全体に意欲的である一方、学習内容に対する理解力は比較的個人差が大きい。指導の過程においては、理解の早い者に対する発展的課題の準備や、理解の遅い者に対する教えあい学習、ドリルの学習等、個に応じた配慮を必要とする学習状況である。

4. 指導計画(6時間扱い)

- | | | |
|-------------------|-------|---------|
| (1) 「あおによし」奈良の都 | ----- | 1時間(本時) |
| (2) この世をば…貴族の政治 | ----- | 1時間 |
| (3) 開墾のスズメ…班田のその後 | ----- | 1時間 |
| (4) 聖武天皇と国分寺 | ----- | 1時間 |
| (5) 平安時代の美人像 | ----- | 1時間 |
| (6) アテルイと田村麻呂 | ----- | 1時間 |

5. 本時の指導計画

(1) 本時の主題 「あおによし」…奈良の都

(2) 本時の目標

- ① 自らの考えをもとに授業に参加し、目標の達成に意欲的に取り組むことができる。【意欲・関心】
- ② 律令制を維持するには、全国の農民の力が必要であったことに気づかせ、様々な立場の人々の思いをあらわすことができる。【思考・判断】
- ③ 農民の暮らしの有様について、教科書を用いてその根拠を見いだすことができる。【技能・表現】
- ④ 平城京の構造の読み取りや社会構造の追求から、中央集権国家のイメージを深めることができる。【知識・理解】

(3) 本時の構想

奈良時代は、日本史上初めて整った支配機構を持つ「国家」が登場する時代である。しかもその国家は、天皇を頂点とする律令制という体制の国家であった。本時で扱う平城京は、その律令国家の支配機構そのものであるととらえたい。

平城京をイメージする時、「青丹よし寧楽の京師は咲く花の…」という歌に代表される明るく、きらびやかなものが想像されるが、貧窮問答歌等の、搾取される農民の上に成り立つ平城京という暗の部分があることも事実である。そこで本時では、都の構造、人口構成、戸籍等の事実を視覚的な資料として提示することを通して、当時の農民が実感したであろう「国家」の存在、巨大な支配体制といったものをイメージさせ、生徒の平城京観、時代観をゆさぶりながらすすめていきたい。具体的構想は下記のとおりである。

- | | |
|-----------|--|
| < 復 習 > | 始業時の一問一答から、小学校での学習事項の想起、理解度の把握。 |
| < 基本の習得 > | 藤原京の学習で描いた生徒のイラストを用いての貴族の生活の理解。 |
| < 発 展 > | ① 都の生活を支えた農民の暮らしの調べ学習。
② 歌を通じた貴族、農民それぞれの立場での思いのイメージ化。 |

あおによし…奈良の都

氏名 []



1. 教科書を読み取って!

- () 年、() に新しい都が作られた。
- この都を() 京という。
- その前の都は() 京である。
- 都は広い道路で() の目にくざられている。
- 手本となったのは中国の都、() である。

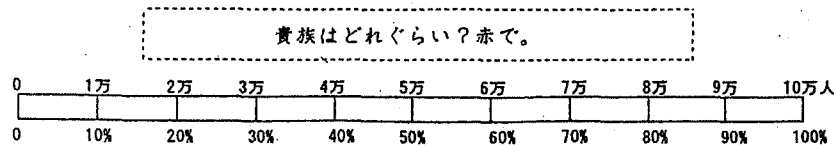
2. 5つ!

!	1
	2
	3
	4
	5

平城京の、[] なのは どうしてだろう?

3. 平城京は…

○色分けしてみよう○



平城京は、[] の都。

4. 貴族の暮らしを支える

法

①6年ごとに()をつくり、
②6才以上の人に()が与えられた。

ろくえき

労役

各国の財産に

都の役人の給料
都の仕方の食料
天皇の食料
天皇への貢ぎ物

都に運んでこい!

うんきゃく

運脚

へいえき

兵役

都の役所の下働き(仕方)…都にこい!

都の警備にあたり(兵役)、北九州を守れ(防人)

さきもり

5. 確かめよう

一言。



6. 挑戦! 無理か!?

「あおによし 奈良のみやこは咲く花の
にほうがごとく 今さかりなり」

ご苦労! 最上級は裏だ。

めあて

あなたも奈良時代を歌ってみよう

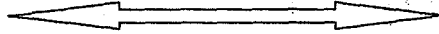
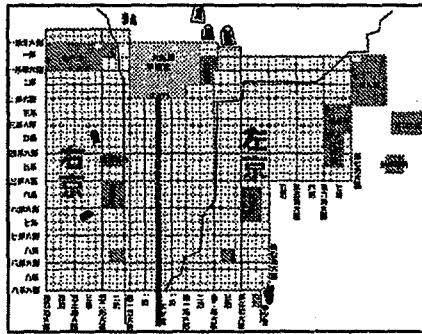
< 貴族 >

- ・ 701年、奈良
- ・ ごぼんの目
- ・ 唐の都、長安

天皇中心の町

貴族の都

あおによし
奈良の都は咲く花の
におうがごとく今盛りなり



< 農民 >

- ・ 班田収授法
- ・ 6才以上に口分田
- ・ 租・調・庸
- ・ 労役・兵役

発展のうた

中心資料「平城京見取図」

